

# 令和2年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
  - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
  - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
  - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名 ( **音楽** ) 教科担任名

★教科・観点について  
 学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。<○成果 ▲課題>

観点	1学期			2学期			3学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
音楽への関心 意欲・態度	1年	課題:提出物を期日までにさせない、取り組めない生徒へのケア	批評文や感想で良いものを掲示して参考にさせ、提出を促す。	1年			
	2年	課題:提出物を期日までにさせない、取り組めない生徒へのケア	批評文や感想で良いものを掲示して参考にさせ、提出を促す。	2年			
	3年	課題:提出物を期日までにさせない、取り組めない生徒へのケア	批評文や感想で良いものを掲示して参考にさせ、提出を促す。	3年			
音楽的な感受や 表現の工夫	1年	課題:半年近く歌っていなかったため、声量や表現力に欠ける時がある。	感染対策を講じながら、徐々に歌唱の時間を増やししつつ、表現力を思い出させていく。	1年			
	2年	課題:半年近く歌っていなかったため、声量や表現力に欠ける時がある。	感染対策を講じながら、徐々に歌唱の時間を増やしつつ、表現力を思い出させていく。	2年			
	3年	課題:半年近く歌っていなかったため、声量や表現力に欠ける時がある。	感染対策を講じながら、徐々に歌唱の時間を増やしつつ、表現力を思い出させていく。	3年			
表現の技能	1年	課題:発声や呼吸法等、歌っていなかった期間が長かったため、技能的な側面がやや不足している。	感染対策を講じながら、徐々に歌唱の時間を増やしつつ、技能を高めていく。	1年			
	2年	課題:発声や呼吸法等、歌っていなかった期間が長かったため、技能的な側面がやや不足している。	感染対策を講じながら、徐々に歌唱の時間を増やしつつ、技能を高めていく。	2年			
	3年	課題:発声や呼吸法等、歌っていなかった期間が長かったため、技能的な側面がやや不足している。	感染対策を講じながら、徐々に歌唱の時間を増やしつつ、技能を高めていく。	3年			
鑑賞の能力	1年	課題:音楽の要素を用いた感想や批評文が書けるようになること。	要素とは何かを各単元の学習活動を通して理解させていく。	1年			
	2年	課題:生徒によって要素を用いた表現の幅がかなりある。	要素とは何かを再度各単元の学習活動を通して理解させていく。	2年			
	3年	課題:生徒によって要素を用いた表現の幅がかなりある。	要素とは何かを再度各単元の学習活動を通して理解させていく。	3年			
授業改善の検証方法	ワークシート等の掲示 実技テストにて必要な要素を具体的に指示し、フィードバックしていく。 要素をマグネットシートで移動できるようにして、目に入りやすい位置に設定し直し、普段から意識できるようにする。						
研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題		1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容		2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題
学び合う力	班活動(3, 4人)を通して、対話的な学びを深め、主体的な考え、感性の育成を図る。	1学期は班活動が実施できなかったため、2学期以降に班活動によるグループ学習を推進していく。					